大阪市安全なまちづくり推進協議会

構成団体の活動状況

１　　令和３年度　活動結果　　　２ 頁 ～ ２３頁

２　　令和４年度　活動計画　　 ２４頁 ～ ４０頁

令和３年度　構成団体活動結果

|  |  |
| --- | --- |
| 団　体　名  大阪市工業会連合会  大阪市子ども会育成  連合協議会  大阪市社会福祉協議会  大阪市ボランティア・市民活動センター  大阪市商店会総連盟  一般社団法人  大阪市身体障害者団体協議会  一般社団法人  大阪市青少年活動協会  大阪市青少年指導員連絡協議会  大阪市青年団体協議会  大阪市地域女性団体協議会  大阪市地域振興会  大阪市手をつなぐ  育成会  大阪市PTA協議会  公益社団法人  大阪府防犯協会連合会  大阪市保護司会  連絡協議会  大阪市民生委員  児童委員協議会  大阪市老人クラブ  連合会  大阪府警備業協会  ＮＰＯ法人  大阪府錠前技術者  防犯協力会  ＮＰＯ法人  大阪府防犯設備協会  一般社団法人  ガールスカウト  大阪府連盟  日本労働組合総連合会大阪府連合会  日本郵便株式会社  大阪北郵便局  大阪府  大阪府警察本部  大阪市 | 令和３年度活動結果  １　市工連会員である地域工業会・産業会が、各地域で開催されるキャンペーンやイベント（コロナ禍で中止になった事業もあり）に積極的に参画した。  ２　各種防犯対策キャンペーンやイベントなどを、市工連会員である地域工業会・産業会を通じて広報するとともに、市工連ホームページに掲載して広報した。  ３　啓発冊子やリーフレットを市工連会員である地域工業会・産業会に  　対して会員企業への配布を依頼するとともに、市工連で掲示・配架を  　行うことにより周知を図った。  新型コロナウイルス感染症の拡大が収まらず、子どもたちへの感染も  散見されるようになり、子ども会活動を自粛した。  １　各種防犯に係る情報提供  　〇　４月事務局長会　　４月１４日（水）  　　・　大阪市消費者センターからの事項  　　　　令和３年度大阪市消費者センター地域講座等の案内及び消  　　　費者被害防止の協力依頼について  〇　９月事務局長会　　９月８日（水）  　　・　大阪市市民局ダイバーシティ推進室人権企画課からの事項  　　　　犯罪被害者等への支援について  〇　１１月事務局長会　１１月１０日（水）  　　・　大阪府警察本部府民安全対策課からの事項  　　　　還付金詐欺被害防止啓発チラシの注意喚起について  ２　各区社会福祉協議会において、地域の防犯ボランティア団体等と連携を図りながら、地域における防犯活動に参加する等の取組みを実施。  ３　「地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業」として、  地域の見守り活動や孤立世帯等への専門対応、また認知症高齢者等の行方不明者の早期発見へつなげた。  ４　コロナ禍でのつながりづくりの継続・推進として、ICTの活用促  進や、安全・安心な活動の継続や再開に向けた取組みの発信などを  ５　地域こども支援ネットワーク事業を実施し、こどもの居場所づくりなどを支援することで、地域でこどもたちを支え、安全安心なまちづくりにつながる取組みの実施。  １　各商店街で区役所等と連携し、啓発物の配布･掲示を実施。  ２　各区のイベント等において、市民へ安全･安心を呼びかける防犯啓発  活動を実施。  １　障害者週間キャンペーン  　　「共生社会の実現」「障害に関する理解の促進」「こころのバリアフリー」等をテーマとして大阪市各区の障がい者が主体的に参加し、区役所・駅・主要ターミナルで啓発物品を配布し、啓発活動を図った。  ・障害者週間　毎年12月3日～9日  　　　　・啓発物品 ポケットティッシュ、使い捨てマスク  　　　　　　　　　　　「何かお手伝いしましょうか？」と声をかける  　　　　　　　　　　　“こころのバリアフリー”にご協力を！  　　　　・参加人数　　大阪市内各区10～30名  １　知識の普及  　　安全のための知識を普及するために、青少年活動指導者対象の研修会や講座を開催し、また、依頼を受けて講師として「指導者がおこなう安全管理のチェックポイント」や「ＫＹＴ（危険予知トレーニング）の活用」などの指導をおこなった。  ・　（一財）大阪教育文化振興財団「地域こども体験活動事業」に講師  登録  おとなミニ研修「こども活動の安全管理」  ・　青少年活動リーダースクール  　　　野外活動指導者養成講習「野外活動における安全管理」  １　指導ルーム活動の実施  ・　毎月25日を「統一指導ルームの日」と設定して、市内全域で夜間  巡視を実施  （令和３年度の実績）  コース数　　　　　　　　　延　1,580コース  　 青少年指導員参加者数　　　延　5,440名  　　関係団体からの協力人数　　延　3,693名  ２　啓発活動  　　自転車での巡視の際、前かごカバーに「指導ルーム」と表示した反射  板を貼りつけ、地域を巡視し、啓発を行った。  １　会合や事業参加への行き帰りの注意喚起（歩きスマホの自粛、ひったくりへの注意）  ２　啓発冊子の配布と内容説明  ３　推進月間の広報  ４　新型コロナウイルス感染症予防策として、会話時のマスク着用、３  密を避ける行動を心がけた  １　女性学習会を通じた「地域における安全・安心なまちづくり」についての学習および啓発  ２　安全ガイドブック等の啓発冊子の配布、掲示  ３　地域安全運動キャンペーンへの参加  ４　推進月間のＰＲやひったくり等についての注意喚起  １　各区において、防犯ボランティア活動を展開し、区役所、警察署、  各防犯ボランティア団体と連携を図りながら、様々な防犯活動を展開した。  １　子どもの安全見守り活動への協力（随時）  所管施設において「こども110番の家」のステッカーを掲示し、子どもの安全確保への協力。  ２　防犯パトロール活動への協力（12月末）  所管施設所在の連合町会と協力して防犯提灯の設置および年末警戒パトロールへの参加。  ３　犯罪抑止活動（随時）  所管施設前の生活道路の清掃を兼ねて犯罪抑止の見守りを行った。また、町会が防犯カメラを設置する際に所管施設の場所を一部提供  したり、事業所と公道の境界に防犯カメラを設置して犯罪抑止につなげた。  １　年１０回開催の理事会にて  各区ＰＴＡ協議会の理事４名が集まり（ハイブリッド形式） 情報交換をした。  １　地域安全運動・歳末警戒の実施  　〇　春と秋の地域安全運動の推進、歳末警戒の実施  ２　広報啓発活動の実施  　〇　「大阪府安全なまちづくり推進会議」「大阪市安全なまちづくり推進協議会」、大阪府金融機関防犯対策協議会、質屋防犯対策協議会、大阪府防犯設備協会等と協働した活動の推進  　〇　機関紙「防犯おおさか」での広報啓発（年３回発行）  　〇　「安全なまちづくり（地域安全活動資料）」、地域安全運動及び歳末警戒時のチラシ・グッズ等の作成配布  　〇　ホームページの運営（犯罪発生状況、安全なまちづくり関係等）  　〇　暴力団排除活動の推進（理事会参加）  　〇　覚醒剤、危険ドラッグ等薬物乱用防止の広報  　〇　特殊詐欺の被害防止広報（高齢者対策の推進）  　〇　自転車防犯登録制度の勧奨と鍵掛けツーロック運動等の推進  　〇　防犯関連図書、資料の斡旋  ３　防犯団体への支援活動  　〇　防犯団体が実施する防犯対策・活動等への助言・支援活動  　〇　防犯団体等へのＤＶＤ等貸し出し  ４　防犯ボランティア活動の活性化  　〇　防犯功労者に対する各種表彰  　〇　地域防犯活動状況をホームページに掲載  ５　防犯キャンペーンへの支援  　　毎月１１日は「安全・安心まちづくりの日」のぼり旗の作成配付など  ６　防犯設備及び資機材の普及促進  　〇　防犯建物部品（CPマーク）等の優良防犯器具の普及促進  　〇　防犯モデルマンション、防犯モデル駐車場、防犯器具等登録制度の普及促進  ７　有害環境浄化に向けた取組  　〇　風俗営業所管理者対象の定期及び処分時講習の実施（受託事業）  　〇　風俗営業許可及び構造、設備変更申請に伴う営業所等の調査(受託  事業)  １　新型コロナウイルス感染症拡大防止の措置として、活動を自粛した  が、一部の地区保護士司会で特殊詐欺被害防止の啓発活動を実施した。  １　地域の子どもたちを犯罪から守るため、地域内の各団体と協力して登下校の見守りを実施  ２　夏休み期間に、夜回りを実施（数区にて実施）  ３　ひったくり、振り込め詐欺などの特殊詐欺の注意喚起  ※　新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、感染予防を徹底  したうえで、できる範囲で活動  １　高齢消費者被害防止講習会の開催  　・　各区老連で随時実施  ２　交通安全大会・講習会等への参加  ・　各区老連で随時実施  ３　ひったくり等についての注意喚起  ・　各区老連で随時実施  ４　特殊詐欺についての注意喚起及び講習会の開催  ・　コロナ禍の為、役員合同研修会資料にて注意喚起及び各区老連で  　随時実施  ５　大老連機関紙に啓発記事を随時掲載  　・　大阪市消費者センター  　・　大阪府警  「安全なまち大阪」の確立に向けた公的事業に対する積極的な参加・推進を令和３度の事業計画に掲げ、次の活動を実施した。  １　特殊詐欺被害対策用自動録音機の提供  　特殊詐欺対策として、電話に取り付ける自動録音機を令和３年度  (令和3年4月及び令和4年1月に200台を大阪府警察と共に被害の多い高齢者への取り付けを行った。  ２　「リ・デザイン京橋プロジェクト」に協力  　都島警察署の提唱によるJR 京橋駅高架下に壁画を描くことにより  　防犯に繋げるプロジェクト活動に賛同し、当該壁画を描く延べ１２  　日間、当協会の「安全活動協力隊」が現場作業の安全を見守った。  ３　各種事件事故防止活動時等における防犯意識の普及・啓発活動  　 会報等への「安全なまちづくり」に関する活動等の掲載  ４　子どもを守る活動の実施  大阪府警察の安まちメールから子ども被害情報を抽出加工し、希望する会員会社へ「大警協安全安心まちづくりメール」としてデータ配信を行っている。(週1～2回の配信)  １　府民に錠前に関する無料相談と会員業者の紹介  ２　大阪府並びに大阪府警察が行う、「放置自動車（大阪府条例）」の施解錠業務に於ける会員業者の派遣（年間業務）。  ３　本会メーカーの錠前商品の常設展示とリーフレット配布  ・　北区・曽根崎コミュニティプラザ  ・　住之江区・ＡＴＣ輸入住宅展示ホール  ４　催物（新型コロナウイルス感染拡大防止対策により開催中止あり）  　・　各警察署、自治体からの要請による防犯キャンペーン及び防犯教室  ５　「防犯防災総合展」への出展（インテックス大阪）  ６　その他、各種イベントへの参加  １　安全なまちづくり運動への参加と支援  （１）　街頭犯罪抑止活動としての街頭防犯カメラの設置支援・既設カメ  ラのメンテナンスのアドバイス・・延2回、延4人  （２）　大阪府防犯優良戸建住宅認定制度の推進  ・・申請8件、設計審査認定4件、認定1件  （３）　大阪府防犯優良戸建住宅外構認定制度の推進  ・・申請0件、設計審査認定0件、認定0件  （４）　大阪府防犯優良低層マンション認定制度の推進  ・・申請9件、設計審査認定9件、認定9件  （５）　大阪府防犯優良住宅認定制度の推進  　　　　令和3年11月1日、上記（２）、（４）は本制度に移行した  大阪府警察、大阪府から本制度を推奨された  〇　戸建部門・・申請1件、設計審査認定1件、認定1件  〇　低層ﾏﾝｼｮﾝ部門・・申請0件、設計審査認定0件、認定0件  （６）　大阪府防犯モデルマンション・駐車場登録制度の審査への参画・  支援（（公社）大阪府防犯協会連合会が実施主体）  〇　大阪府防犯モデルマンション登録制度の審査・・申請40件、  登録48件  〇　大阪府防犯モデル駐車場登録制度の審査・・申請0件、  登録0件  （７）　警察署等からの依頼に基づく防犯活動の実施  　　　　警察署等からの要請に基づき、防犯設備アドバイザーを派遣し、防犯講話、防犯診断を実施  〇　防犯講話の実施・・延0回、延0人  〇　防犯診断の実施・・延23回、延31人  〇　小学校等に対する防犯診断・・延73回、延158人  ２　安全なまちづくりに関する各種協議会への参画・参加  （１）　府・各区市町村安全なまちづくり推進会議（協議会）及び幹事会への参画（随時）・・延9回、延9人（全て書面表決）  （２）　大阪府自動車盗難等防止対策協議会総会への参画  ・・延１人（WEB会議）  （３）　（公社）日本防犯設備協会が主催する会議への参画  　　　〇　防犯設備士（業）協会全国大会（11月12日）・・延1回、  延1人  〇　防犯設備士更新講習実施に伴う近畿３府県会議への参画  　　　　・・集合会議２回、WEB会議5回  （４）　東警備業防犯協議会総会への参画・・延1人（書面表決）  ３　防犯研修会及び防犯機器の展示会等の実施  （１）　各種イベント会場での防犯機器の展示及び防犯相談の実施  　　　〇　防犯防災総合展inKANSAI2021（8月26日～8月27日）  　　　　主催：（株）テレビ大阪エクスプロ・・延13人  　　　〇　防犯設備士更新講習会場での防犯機器展示及びセミナーの実施（7月30日）　「テーマ：ＡＩ機能付き防犯カメラについて」  　　　　展示会入場者・・72人、セミナー参加者・・約100人  （２）　常設展示場の設置・活用（通年）  曾根崎警察署地下・大阪府警広報コーナーに設置した防犯設備・機器の常設展示場を有効活用  ４　安全なまちづくりの啓発活動  　〇　「安全で安心して暮らせるまちづくり」（NPO法人大阪府防犯設  　　備協会広報用パンフレット）、「わが家の防犯対策講座」など安全な  まちづくり啓発用パンフレットの配布及び同趣旨のパネルを展示（各種イベント参加時）  なお、境界の名称変更に伴いパンフレット、パネル等はリニューアルした  ５　防犯従事者等への教育事業の実施  （１）　防犯設備士更新講習への支援  　　　　7月30日、エル・おおさか・・受講70名  （２）　防犯設備アドバイザーの養成講習並びに現任アドバイザーへの  講習  　　〇　新任・現任講習（12月3日）・受講者　新任9名・現任37名  　　〇　現任講習（8月5日、9月10日）・・受講者　現任40名  　　　　学校の防犯診断実施に伴う講習会  １　随時、指導者研修を行い、活動時の安全について指導した。  ２　ガールスカウト活動を通じて、地域社会における危険と安全を体験し、少女と若い女性の心を育てた。  ３　ＳＮＳ問題に対して少女自ら考え、自己防衛をするよう指導した。  ４　新型コロナウイルスの感染防止に対する対策方法を指導した  １　大阪府に要請している「政策・制度予算要請」の中で、「社会イン  フラ」の項目に、以下の12点を挙げて取り組んだ。  大阪市を含む府内の市町村に対しても、同様の要請を実施した。  ２　要請内容は、構成組織に広く展開しており、安全なまちづくりへ  の啓発に寄与しているものと考える。  ※　要請内容  〇　社会インフラ（住宅・交通・情報・防災）施策　【12項目】  (1)　交通バリアフリーの整備促進  (2)　安全対策の向上に向けて  (3)　運輸事業の交通安全対策・環境対策等について  (4)　キッズゾーンの設置に向けて  (5)　防災・減災対策の充実・徹底について  (6)　地震発生時における初期初動体制について  (7)　大阪府北部地震に対する継続支援について  (8)　集中豪雨等風水害の被害防止対策について  (9)　激甚災害時における公共交通機関の早期復旧に向けた取組  (10) 公共交通機関での暴力行為の防止とその対策について  (11) 交通弱者の支援強化に向けて  (12) 持続可能な水道事業の実現に向けて  １　広報啓発物の掲示等の推進  令和３年度は以下のポスター・チラシの配架協力を実施。  ・　世界自閉症啓発デー  ・　大阪市防災アプリ  ・　親族後見人等相談会  ・　専門相談員による人権相談  ・　大阪城天守閣復興９０年記念イベント  ・　大阪市児童虐待ホットライン（オレンジリボン運動）  ・　市民後見人養成講座募集  ２　大阪市包括連携協定の推進  （１）地域見守り活動  ・　道路や公共設備の損傷を発見した際の通報  ・　配達先で家屋・住人の異常を発見した場合の通報  ・　不法投棄などを発見した際の通報  （２）区政・市政状況のＰＲ  広報紙等の社内回覧及びお客さま窓口配架  （３）こども１１０番の家事業への協力  郵便局窓口へのステッカーの掲出、取組の啓発  （４）ポスター・チラシのお客さま窓口への配架  項番１の広報啓発物のほか、個別に要請があった場合に大阪市内の各郵便局において掲出・配架を行う  ３　特殊詐欺被害防止への取組  各郵便局のお客さまルーム及びＡＴＭコーナー等で啓発チラシの配架及びステッカーの掲出  また、不審な取引を迫られているお客さまへの声かけや相談対応を行う  ４　大阪府高齢者にやさしい地域づくり推進協定に基づく地域づくり  　・　高齢者等の見守り活動  ・　認知症に対する正しい知識の習得  ・　高齢者等の消費者被害防止への取組  ５　新型コロナウィルス感染拡大防止動画の窓口での放送  （大阪市北区役所からのお知らせあり）  ６　新型コロナウィルス感染予防の市民周知用ビラの窓口配布  １　地域安全センターの活動支援  　〇　地域の情勢に応じ、設置箇所の見直しを行い、移設を働き掛けた。  　〇　治安対策ニュース・治安対策課通信や府ホームページ等の各種広報  媒体で好事例・効果的な取組を広報した。  〇　新型コロナウイルス感染症対策に配意し、防犯教室や見守り活動等  に参加し、防犯ボランティア団体の活性化を図った。  ２　企業における社会貢献活動への取組の促進  〇　公民連携デスクと連携し、企業に対して、防犯活動の取組を働き掛  け、さらに企業の各種広報媒体を通じて広報啓発活動を実施した。  　〇　企業から、各種防犯キャンペーンで配布する啓発物品（防犯ブザー  等）の提供を受け、各種防犯キャンペーンやイベント等で配布した。  ３　防犯リーダー等の養成及び防犯ボランティア活動への参加啓発の推  　進  　〇　大阪ランニングパトロールをはじめとした「ながら見守り活動」の  普及促進活動を実施した。  〇　府警と連携して「安全・安心なまちづくりマニュアル」を活用し、  防犯リーダーの育成を図った。  　〇　府警や消費生活センター等と連携し、悪質商法や特殊詐欺対策に取  り組む防犯リーダーである「消費のサポーター」養成に取り組んだ。  　〇　ツイッターを活用し、若い世代に対する広報啓発活動を行った。  ４　青色防犯パトロール活動の促進  　〇　事業者団体から寄贈を受けた青色防犯パトロール車両を市町村に  配車し、活動の促進を図るとともに、翌年度の同車両寄贈の働き掛けを行った。  　〇　府保有の青色防犯パトロール車両を活用して、府内各地域における  防犯ボランティアや府内各警察署と協働した登下校時における見守り活動、広報アナウンスの放送による子どもへの安全啓発活動を実施した。  　〇　自治体に対する地域見守り力向上事業（青色防犯パトロール車両へ  のドライブレコーダー取付け補助事業）を実施した。  ５　ホームページの活用による防犯ボランティア活動の紹介、防犯ボラン  ティア支援など積極的な情報の提供  　〇　防犯ボランティアの取組事例を紹介した。  　〇　大阪府安全なまちづくりボランティア団体表彰受賞団体を紹介した。  ６　庁内ウェブページ等を活用した府職員の防犯意識の向上や防犯活動  への参加促進  　〇　庁内ウェブページや庁内放送等を利用した、府職員への防犯情報の  提供により防犯意識向上の促進を図った。  　〇　府民へ危害が及ぶおそれのある事案が発生した際に、部局間におい  て迅速に情報共有を行い、注意喚起を実施した。  ７　基礎自治体との連絡調整  　〇　コロナ禍により市町村防犯担当者による連絡調整会議については  書面開催とし、ブロック別意見交換会は開催を延期した。  　〇　特殊詐欺被害件数等の犯罪情報を掲載した治安対策課通信を自治  体担当者へ配信し、犯罪情報等を提供した。  　〇　府内各市町村と、防犯環境整備状況の把握・資料化及び情報共有を  行った。  ８　犯罪多発場所等における防犯対策の推進  新型コロナウイルス感染症対策を講じ、犯罪情勢に合わせた、自治体、  事業者、防犯ボランティアへの働き掛け、防犯研修、キャンペーン等の広報啓発活動を実施した。  ９　実践的・体験型交通安全事業の実施  　　自転車シミュレータを活用し、効果的な交通安全講習を実施した。  10　犯罪抑止に向けた街頭キャンペーンの実施  　　大阪府安全なまちづくり推進会議や自治体と連携した防犯キャンペーン等を実施し、府内の防犯気運の醸成を図った。  11　地域安全マップの普及促進  　　地域安全センターに対し、犯罪情勢や防犯対策等の作成にかかる参考情報の提供を実施した。  12　府民に対する「治安対策に向けたアンケート調査」の実施  　　「おおさかＱネット」を活用し、府民への治安対策に関する調査を実施した。  13　地域に根ざした少年非行対策を進めるための市区町村における少年非行防止活動ネットワークへの支援  　〇　支援が必要な市区町村を中心に、巡回指導や研修・講演会の講師派遣を行う等活性化支援を行った。  　〇　関係団体と連携し、活動物品の提供を行った。  14　少年の非行及び犯罪被害防止活動の実施  　　夜間等における街頭巡回活動に同行し、声掛け活動を実施した。（少年非行防止活動ネットワークへの活動支援）  15　小・中学校における生徒指導体制の強化  　　大阪府少年サポートセンター学警補導連絡会（１月）を開催し、大阪府下の小・中学校の生徒指導主事及び学校長との情報交換を行った。  16　少年警察ボランティア及び青少年指導員との連携  　　少年非行防止活動ネットワークの活動支援を通じ、少年警察ボランティアと青少年指導員のみならず、地域のボランティア等を含めた連携強化を推進した。  17　青少年健全育成条例等の効果的な運用  　〇　有害環境浄化活動の促進  　　・　ミナミ等繁華街の夜間立入制限施設に対して条例遵守状況調査を実施した。（35施設）  　　・　有害図書類等の区分陳列遵守状況調査（138店舗（２月末時点））及び自動販売機の遵守状況調査（422台）を実施した。  〇　スマートフォン等を介した被害の防止に向けた取組の促進  　　・　フィルタリングの利用促進に向け、啓発資材を保護者や青少年等に配布した。  　　・　ネット利用をみんなで考えるプロジェクトを実施した。（青少年のインターネット利用環境づくりフォーラム来場者数83名、YouTube再生回数544回）  　　・　スマホ・SNS安全教室を実施した。（24回（12月末時点））  　　・　事業報告書兼事例教材集を配布した。（約3,000部）  　　・　携帯電話販売店舗に条例遵守状況調査を実施した。（61店舗)  18　少年非行防止・暴走族追放のための広報啓発  〇　「少年非行・被害防止強調月間（７月）」において、ポスターを作成し、府内の学校等へ配布した。  〇　府内のイオンモールにおいて、啓発キャンペーンを開催し、啓発動画の放映及び啓発資材の配布等を行った。  19　非行等問題行動のある少年に対する立ち直り支援  　　少年サポートセンター育成支援室において、非行等問題行動のある少年に対して、個々の特性に応じた立ち直り支援活動を実施した。（事業回数：969回、参加延べ人数：1,100人（２月末時点））  20　少年非行防止に向けた保護者・家庭への支援  　　少年サポートセンター育成支援室において、立ち直り支援事業を行う過程での情報交換や指導助言を通じて保護者・家庭の支援を行った。  21　無職少年に対する自立・就労支援  　〇　大阪府子ども・若者民間支援団体連絡会議の活用  　　　12月21日、市町村と民間支援団体の意見交換会を実施した。  〇　「青少年スキルアップサポートモデル事業」の実施  　　　ニート・ひきこもり等を経験するなどの課題を抱え民間支援団体等で支援を受けている青少年に対し、インターン・アルバイト支援等の将来に備えた支援を実施することで、青少年の社会的自立を促進する「青少年スキルアップサポートモデル事業」を実施した。  　〇　若年無業者の職業的自立支援の実施  OSAKAしごとフィールドにおいて、大阪府地域若者サポートステーションと一体的に支援を実施することにより、若年無業者の職業的自立支援を実施した。  22　まちぐるみでの子ども見守り活動の促進  　〇　地域住民、事業者等に対し、ランニングパトロールを通じて「ながら見守り活動」を含む子ども見守り活動への参画を働き掛けた。  〇　各種キャンペーン、防犯教室等を通じて、防犯ブザーの普及促進を図った。  23　こども110番運動の活性化  　　毎年８月を「こども110番月間」とし、各種キャンペーン等を実施して、「こども110番の家」及び「動くこども110番」の広報啓発活動を実施した。  24　非行防止・犯罪被害防止教室の実施  　　小学校段階での規範意識の向上を図るため、小学５年生を対象に非行防止・犯罪被害者教室を実施した。（実施校：880校/995校、実施率：88.4％（３月末時点））  25　道路・公園における防犯環境の整備  　　府営駐車場内の監視カメラ等による監視体制を維持し、防犯ポスターを掲示した。  26　自転車通行環境の整備  　　大阪府自転車通行空間10か年計画に基づき、府管理道路で約17㎞の自転車通行空間を整備した。  27　無電柱化事業の促進及び美観形成等による交通・防犯環境の整備  　　大阪府無電柱化推進計画に基づき、府管理道路で約2.6㎞の電線共同溝を整備した。  28　住まいの防犯対策の普及  　　「大阪府防犯優良住宅認定制度（戸建・低層マンション）」を推奨し、同制度及び「防犯モデルマンション」等の広報啓発活動を実施した。  29　府営住宅における防犯環境の整備  　　府営住宅の防犯仕様への対応として、バルコニーからの侵入防止やインターホンの設置等を実施した。  30　ひったくり防止カバーの普及促進  　　発生実態に応じたひったくり防止カバーの普及促進を実施し、さらに大阪府自転車商防犯協力会からひったくり防止カバーの寄贈を受け、府内市町村と連携したうえ、普及促進を行った。  31　子どもや女性を対象とした性犯罪等の未然防止対策の推進  　〇　事業者団体と連携し、防犯ブザーの普及及び配布を実施した。  〇　女性に対する性犯罪被害防止研修・キャンペーン等を実施した。  〇　府保有の青色防犯パトロール車両を活用した児童らの登下校時における見守り活動を実施した。  〇　再犯防止措置対象者に対する再犯防止対策を実施した。  〇　性犯罪被害防止に向けた効果的な広報啓発活動を実施した。  32　サイバー犯罪の手口に関する関係機関との情報共有  　　消費生活センターからサイバー犯罪対策課に詐欺サイト及び偽サイトに関する情報の提供を実施した。（221件（３月末時点））  33　特殊詐欺被害防止対策の推進  　〇　府内各部局、警察、自治体、事業者等と連携した被害防止に関する広報啓発を実施した。  〇　消費生活センターと連携し、被害防止対策を実施した。  〇　特殊詐欺被害防止緊急対策事業による市町村への特殊詐欺対策機器の普及活動を実施した。  〇　特殊詐欺被害防止に関する各種広報啓発活動を実施した。  〇　キャンペーン等の広報啓発活動を通じ、防犯機能付電話機等の普及活動を実施した。  〇 自治体に対する特殊詐欺対策機器貸出事業の予算化に向けて働き掛けを実施し、８自治体で自動録音装置等の貸出事業を実施した。  34　生活保護をはじめとする不正受給対策  　　生活保護法施行事務監査において、「不正受給等の防止に向けた取組」を重点監査事項として掲げ、収入や資産の把握、課税調査や訪問調査等が適正に行われているかの確認及び必要な指導を行った。  35　高齢者の見守り活動などの支援体制の充実  　　民間の事業者と締結する「大阪府高齢者にやさしい地域づくり推進協定」に基づき、市町村が実施する行方不明高齢者の早期発見・保護への協力や見守り等の充実に取り組んだ。  36　企業等と連携した自動車関連犯罪の被害防止対策の推進  　　関係団体・企業と連携し、各種広報啓発活動を実施した。  37　駐車場・駐輪場設置者設備整備に係る啓発、協力要請  　〇　関係団体・企業と連携した広報啓発活動の実施  ・　日産大阪販売（株）と連携したダイレクトメールや動画を活用した広報啓発活動を実施した。  ・　８月26、27日に開催された「防犯防災総合展2021」に大阪府警察と合同でブースを設置し、広報啓発を実施した。  ・　大阪府中古自動車販売協会と連携したナンバープレート盗難防止ネジ普及啓発を実施した。  38　自転車の鍵掛け及び防犯効果の高い鍵の取付けの啓発・指導  　〇　子どもの安全見守り活動時など様々な機会をとらえ、自転車の鍵掛けなどについて広報啓発活動を実施した。  　〇　自転車盗難防止に向けた意識の高揚、啓発活動を推進した。  39　重層的なネットワークを活用した自転車盗難防止対策の推進  　　大阪府自転車盗難等防止対策協議会と連携し、各自治体の機関誌に自転車盗難防止に関する注意喚起の掲載依頼を実施した。  40　地域における規範意識高揚キャンペーン（自転車の放置、無灯火、二人乗り等の追放）の推進  　　「大阪府自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」に基づき、自転車マナーアップ強化月間（11月）を始め、各種イベント等において、関係機関と連携し、条例内容の周知啓発を実施した。  41　薬物乱用防止啓発活動等の実施  　〇　薬物乱用防止の広報啓発  ・　大阪府青少年指導員連絡会議を通じて青少年指導員への薬物乱用防止に向けた活動要請を実施した。  ・　「少年非行・被害防止強調月間（７月）」において、ポスターを作成し、府内の学校等へ配布するとともに、府内のイオンモールにて啓発キャンペーンを実施し、大麻乱用防止に関する啓発動画の放映及び啓発資材を配布した。（実施回数：4回）  ・　「子供・若者育成支援強調月間（11月）」において、「咲洲子どもEXPO」で薬物乱用防止の啓発資材を配布した。  ・　府内のイオンモールにおいて、啓発キャンペーンを実施し、大麻乱用防止に関する啓発動画を放映し、啓発資材を配布した。（実施回数：3回）  ・　インターネットのターゲティング広告、ポスターの掲出、府政だより、街頭キャンペーン等により、薬物乱用防止の広報啓発を行った。  〇　薬物乱用防止教育の支援  学校への啓発資材提供、講師派遣等により薬物乱用防止教育を支援した。  42　自転車のマナーアップ向上に向けた駐輪場の整備・設置の促進  〇　自転車マナーアップ強化月間及び駅前放置自転車クリーンキャンペーンを活用し、放置自転車追放の機運を高めるための広報啓発活動を推進した。  〇　駅周辺における放置自転車の実態調査を取りまとめ、各市町村へ情報を提供した。  43　違法駐車排除活動の活性化  　　広報啓発活動の推進による府民意識の向上を図った。  44　不法投棄監視の充実  　〇　不法投棄の抑制効果の向上  　　　不法投棄の抑制を目的として監視カメラの適切な管理を行った。  〇　不法投棄の早期発見及び早期撤去  　　　定期的な道路パトロールにより不法投棄を早期発見して撤去した。  45　落書き・投棄ゴミの早期排除・ボランティアと協働した取組の推進  〇　地域住民との協働  　　　大阪府の管理道路沿道において、地域住民や地元市町村、企業が参加したアドプト・ロード・プログラムを行った。  〇　落書き消し活動の推進  　　　標識等の交通安全施設の損傷状況等を確認するとともに、まちの美観を損なう要因にもなっている同施設に対する落書き等を除去することにより、安全で快適な交通環境を形成し、大阪のイメージアップを図った。  1　地域安全センターの活動支援  　○　防犯ボランティア活動を活性化させるため、地域安全センターを活用し、防犯教室、合同パトロール等を実施した。  ○　地域安全センターの更なる活性化に向け、自治体、事業者等に対し、防犯ボランティア活動への協力依頼を実施するとともに、資料提供等の活動支援を行った。  ２　企業における社会貢献活動への取組の促進  　○　安全なまちづくり協定を締結した事業者に犯罪情勢、地域安全情報等を提供し、高齢者、子どもや女性の見守り活動、犯罪被害防止に向けた広報啓発活動等への協力を依頼した。  ○　事業者の防犯CSR活動への参加促進に向け、事業者に対し、効果的な防犯活動等についての説明を実施した。  〇　株式会社カプコン等の協力を得て、自動車関連犯罪の被害防止に関する広報啓発しおり16万枚を作成し、キャンペーン等の機会に配布した。  〇　自動車関連犯罪の被害防止に関する動画を日産大阪販売株式会社のデジタルサイネージで再生し、広報を実施した。  ○　大阪府宅地建物取引業協会に働き掛けて防犯ブザー1,000個の提供を受け、防犯教室等の機会に配布した。  ３　防犯リーダー等の要請及び防犯ボランティア活動への参加啓発の推進  　○　全国地域安全運動期間中、大阪ランニングパトロールの普及促進のため、安まちアプリを活用した「ランパトチャレンジ」を実施し、152チーム、約900名が参加した。  ○　府内の学生ボランティアの構成員も参加する大阪学生ボランティアネットワーク「みっくす」に対し、オンライン会議を活用するなどして、情報提供や、活動指針に関するアドバイスを行った。  ４　青色防犯パトロール活動の促進  　　青色防犯パトロール団体に対して、犯罪発生状況等の情報提供や被害防止啓発のための広報音源等の提供等の活動支援を行った。  ５　ホームページの活用による防犯ボランティア活動の紹介、防犯ボランティア支援など積極的な情報の提供  　○　安まちメール、ツイッター等の各種媒体を活用し、自主防犯行動を促す情報を提供した。  ○　大阪ランパトチャレンジ等の防犯キャンペーンや巡回連絡等のあらゆる警察活動を通じて、安まちアプリの登録勧奨活動を実施した。  ６　犯罪多発場所等における防犯対策の推進  　○　自治体や事業者に対し、犯罪多発場所や通学路等への防犯カメラ設置に向けた働き掛けを実施した。  〇　電動アシスト自転車のバッテリーの盗難多発場所において、防犯指導やバッテリーロックの取付けキャンペーンを実施した。  ○　夏休み・冬休み前に、教育委員会を介し、府内の全小中学生に対して注意喚起チラシを配布した。  ７　犯罪抑止に向けた街頭キャンペーンの実施  　○　学生ボランティアに対する感謝状の贈呈、ボランティア団体等に対する大阪府警察本部長・大阪府防犯協会連合会会長連名表彰を実施した。  ○　見守り活動や青パト等の防犯活動を行った防犯功労者に対する表彰を実施した。  ○　毎月11日の「安全・安心まちづくりの日」を府民に周知するため、大阪府防犯協会連合会が提案したのぼり旗事業に協力し、最優秀賞など５作品に対して表彰を実施した。  ８　地域安全マップの普及促進  　　安まちメールにより、子ども被害情報を発信するとともに、教育委員会の会議に参加し、子どもが犯罪被害に遭いやすい危険箇所についての講義を実施した。  ９　地域に根ざした少年非行対策を進めるための市区町村における少年非行防止活動ネットワークへの支援  　　各種会議等での講演や研修、声掛け活動時の同行指導等、既構築の少年非行防止ネットワークに対する支援を実施した。  10　少年非行及び犯罪被害の未然防止活動の推進  　〇　夜間帯に歓楽街や商業施設等で街頭補導を実施した。  〇　ＳＮＳに起因した児童の性被害防止対策としてサイバーパトロールを強化し、ＳＮＳ上における性被害につながるおそれのある不適切な書き込みに対し、注意喚起に資するメッセージを投稿者・閲覧者に直接送信する取組を実施した。  〇　サイバーパトロールの結果、保護等の必要性が高いと判断される児童に対しては、接触し直接補導することで、福祉犯被害の未然防止を図った。  11　小・中学校における生徒指導体制の強化  スクールサポーターによる学校への訪問活動等を実施し、学校との連  携強化を図った。  12　少年警察ボランティアとの連携  　　少年警察ボランティアと連携し、大麻乱用防止や児童のＳＮＳ使用に関する啓発ポスターを作成し配布した。  13　青少年健全育成条例等の効果的な運用  　○　有害環境浄化活動の推進  ・　青少年の夜間立入り制限施設の条例遵守状況について立入調査を実施した。  ・　有害役務営業店舗に対する立入調査等の実態把握活動を実施した。  ○　インターネット利用に関する教育及び広報啓発活動の推進  ・　事業者と連携し、インターネットの危険性等に関する犯罪被害防止教室を実施した。  ・　ＳＮＳに起因する犯罪被害事例やフィルタリングの活用に関する広報啓発活動を実施した。  14　少年非行統計に基づく街頭補導活動等各種少年非行防止活動の推進  　　少年のたまり場、い集時間帯等を分析し、街頭補導活動等各種少年非行防止活動を実施した。  15　少年非行防止・暴走族追放のための広報啓発活動  　　株式会社カプコンと連携し、薬物乱用防止広報啓発ポスターを作成し、学校等の教育機関や駅等の公共交通機関に掲示して啓発を実施した。  16　非行等問題行動のある少年に対する立ち直り支援  　○　少年に手を差し伸べる活動の推進  問題を抱えた少年及び保護者に対して、積極的に働きかけ、学習支援やスポーツ教室等、少年の個々の特性に応じた立ち直り支援活動を実施した。  ○　科学的アプローチを用いた立ち直り支援活動の推進  対象少年に対して、公認心理師等の資格を有する少年補導職員が心理テストを行い、科学的根拠に基づいた立ち直り支援活動を実施した。  17　まちぐるみでの子ども見守り活動の促進  　○　日常生活や事業活動をしながら、子どもの登下校時間に行う「ながら見守り活動」を促す動画を作成・公開した。  ○　新今宮小学校（西成区）周辺の企業に働き掛けた結果、子ども安全見守り隊が結成された。  18　非行防止・犯罪被害防止教室の実施  小学校高学年に対する「非行防止・犯罪被害防止教室」を実施した。  19　繁華街等における防犯設備の整備  　　曽根崎署、淀川署、都島署管内の歓楽街に設置している街頭防犯カメラシステムの更新整備が完了した。（更新台数113台）  20　自転車通行環境の整備  道路管理者と連携し、自転車通行空間の整備を推進した。  21　地域における防犯カメラ等効果的な防犯設備の普及促進及び整備  　○　自治体による防犯カメラ等の防犯環境整備を促進するため、資料提供や現場確認等を行い、働き掛けを実施した。  　○　新駅や都市開発の整備事業を実施する自治体等に防犯カメラ設置の必要性を説明し、予算段階から設置に向けた働き掛けを実施した。  22　官公庁、交番等への防犯カメラ等の設置による地域の安全確保  交番に設置された防犯カメラの適正管理を行った。  23　住まいの防犯対策の普及  　○　「大阪府防犯優良戸建住宅認定制度」、「大阪府防犯優良低層マンション認定制度」の制度を改正・統合した「大阪府防犯優良住宅認定制度（戸建部門）」、「大阪府防犯優良住宅認定制度（低層マンション部門）」を新たに制定し、普及促進を図った。  ○　ホームページに「防犯モデルマンション」、「防犯モデル駐車場」の概要を掲載し、大阪府防犯協会連合会のホームページとリンクさせ、制度の普及促進を図った。  24　ひったくり防止カバーの普及促進  　〇　大阪府自転車商防犯協力会等の協力を得て、ひったくり防止カバーを製作し、キャンペーン等で取り付けた。  ○　ひったくりが多発している警察署において、来庁者の自転車に、ひったくり防止カバーの無料取付けを実施した。  25　子供や女性を対象とした性犯罪等の未然防止対策の推進  ○　再犯防止措置対象者に対する所在確認や面談を行うなど、再犯の未然防止を図った。  ○　MBSアナウンサーが出演する痴漢盗撮防犯動画を作成し、放映した。  ○　大阪府宅地建物取引業協会と協力し、大阪府内の５施設において、来場する子供に防犯ブザー1,000個を配布した。  ○　府内72の大学・短期大学と連携した防犯ネットワークを活用し、各校に防犯情報を伝達するとともに、学生対象の防犯教室や防犯キャンペーンを実施した。  ○　各警察署と府内の小学校が協力して、校内の防犯診断及び通学路点検等を行った。  26　サイバー犯罪被害防止対策の推進  　○　広報啓発活動の実施  ・フィッシング被害防止動画を作成し、府下の街頭ビジョン等で放映した。  ・　広報啓発グッズを作成し、配布した。  ・　ボランティアによる広報啓発ポスターや動画の作成を行った。  ・　自治体と連携した企業・高齢者等に対する防犯教室を実施した。  ○　インターネットバンキングに係る諸対策の推進  ・　安まちアプリ等による被害防止情報の発信を行った。  ・　外国語の広報啓発チラシを活用した啓発活動を実施した。  ○　公衆無線LANのセキュリティ対策に関するポスターを掲示した。  ○　大学生ボランティアによる小中学生のネットリテラシー向上に向  けた防犯教室を実施した。  27　特殊詐欺被害防止対策の推進  　○　特殊詐欺に関する被害防止広報啓発活動の実施  　　・　自治体、事業者等と連携し、被害防止広報啓発活動を実施した。  ・　警察署及び自治体のホームページにおいて、主な手口、発生状況、被害防止策等を紹介し、注意喚起した。  ・　具体的な防犯対策が盛り込まれたチラシ等を作成・配布した。  ・　安まちアプリ、ツイッター等の広報媒体を活用して注意喚起した。  ・　警察庁特別防犯対策監杉良太郎氏、同支援官川栄李奈氏を大阪に  招致するなど、著名人の協力を得て広報啓発用動画を作成し、注意喚起した。  ○　敬老の日、冬至の日に、事業者団体と連携して啓発チラシを配布するなど、時宜にかなった広報啓発を実施した。  ○　消費生活センターと連携して事業者向けの高齢者見守りポスターを作成・配布し、事業者に対し高齢者が被害に遭わないための見守りの協力を依頼した。  ○　消費生活センターと連携して、警察庁から還元された名簿登載者等に対して被害防止啓発ハガキを郵送し、注意喚起した。  ○　特殊詐欺被害防止コールセンターを開設し、前記名簿登載者等に対して注意喚起した。  28　水際対策の強化推進  ○　金融機関職員等に対して高齢者の高額出金時における通報等の協力を要請し、未然防止対策を推進した。  ○　金融機関に対して高齢者に対するＡＴＭ引出制限やモニタリングの強化等について協力依頼を実施した。  ○　欺罔電話入電時には、安まちメールを配信して注意喚起を行うとともに、被害に利用されるおそれのある無人ＡＴＭ等に対する集中警戒を実施したほか、急増した還付金詐欺対策として、携帯電話で通話しながらＡＴＭを操作している高齢者等への声掛けを実施した。  ○ コンビニエンスストアに対して、高額な電子マネー購入者への声掛けや通報等の協力を要請し、未然防止対策を推進した。  29　だまされないための電話対策の推進  　○　市町村防犯担当者会議（書面会議）において、市町村防犯担当者に対して防犯機能付電話機等の貸出事業の継続・拡充・創設を働き掛けた。  ○　高齢者や高齢者の子、孫世代等に対して防犯機能付電話機等の設置や、留守番電話機能の活用を呼び掛けた。  ○　家電量販店や家電メーカーと連携して、防犯機能付電話機等の普及促進を図った。  30　企業等と連携した自動車関連犯罪の被害防止対策の推進  　○　一般社団法人日本損害保険協会近畿支部等の協力を得て自動車関連犯罪被害防止啓発ポスター・チラシ等を作成配布した。  ○　一般社団法人大阪府自動車整備振興会傘下店舗をはじめ、各関係団体、企業におけるナンバープレート盗難防止ネジの無料取付けキャンペーンを実施した。  ○　関係団体・企業と連携した広報啓発活動の実施  31　駐車場・駐輪場設置者等への防犯設備の整備に係る啓発、協力要請  　○　「大阪府自動車盗難等防止対策協議会」を書面開催し、自動車関連犯罪の被害防止について働き掛けた。  ○　一般社団法人日本損害保険協会近畿支部に働き掛けて、自動車盗難防止ガイドを作成、配布し、被害防止を呼び掛けた。  ○　自転車駐車場整備センター大阪事務所等の関係団体に対して自転車盗の発生状況や効果的な防犯設備等について情報提供するとともに、駐輪時に二重施錠するよう呼びかける看板・ポスター等の設置など防犯環境の整備を働き掛けた。  32　自転車の鍵掛け及び防犯効果の高い鍵の取付けの啓発・指導  　　電動アシスト自転車のバッテリー盗難被害が急増したことから、防犯速報などによる広報啓発活動や盗難防止用補助錠（バッテリーロック）の取付けキャンペーンを実施した。  33　重層的なネットワークを活用した自転車盗防止対策の推進  〇　電動アシスト自転車のバッテリー盗難被害が急増したことから、「大阪府自転車盗難等防止対策協議会」の会員団体である自転車メーカー及び錠前メーカーに対して、防犯性能の高い錠前の開発依頼等の働き掛けを行った。  ○　「大阪府自転車盗難等防止対策協議会」の会員団体に対して、自転車及びバッテリーの盗難被害防止にかかる広報啓発活動の依頼を行い、防犯対策を働き掛けた。  34　地域における規範意識高揚キャンペーンの推進（自転車の放置、無灯火、二人乗り等の追放）  　○　自転車マナーアップ強化月間（11月実施）等において、各種広報媒体を活用し、広報啓発活動を実施した。  ○　交通ルール遵守等に向けたチラシを作成、配布した。  35　違法駐車排除活動の活性化  ○　府民に「めいわく駐車はやめよう！」ステッカーを配布した。  ○　自治体等の関係機関と連携し、交通安全に関する広報啓発活動を実施した。  ○　駐車実態に即した駐車監視員の効果的かつ弾力的な運用を実施した。  資料４参照 |

令和４年度　構成団体活動計画

|  |  |
| --- | --- |
| 団　体　名  大阪市工業会連合会  大阪市子ども会育成連合協議会  大阪市社会福祉協議会  大阪市ボランティア・市民活動センター  大阪市商店会総連盟  一般社団法人  大阪市身体障害者団体協議会  一般社団法人  大阪市青少年活動協会  大阪市青少年指導員連絡協議会  大阪市青年団体協議会  大阪市地域女性団体協議会  大阪市地域振興会  大阪市手をつなぐ  育成会  大阪市PTA協議会  公益社団法人  大阪府防犯協会連合会  大阪市保護司会  連絡協議会  大阪市民生委員  児童委員協議会  大阪市老人クラブ  連合会  一般社団法人  大阪府警備業協会  ＮＰＯ法人  大阪府錠前技術者  防犯協力会  ＮＰＯ法人  大阪府防犯設備協会  一般社団法人  ガールスカウト  大阪府連盟  日本労働組合総連合会大阪府連合会  日本郵便株式会社  大阪北郵便局  大阪府  大阪府警察本部  大阪市 | 令和４年度活動計画  １　各種防犯対策キャンペーンやイベントなどを市工連ホームページで広報するとともに、市工連会員である地域工業会・産業会を通じて広報する。  ２　啓発冊子やリーフレットの掲示・配架を行うとともに、市工連会員  　である地域工業会・産業会に対し、会員企業への配布を依頼して周知  を図る。  ３　市工連会員である地域工業会・産業会に対し、各地域で開催されるキ  ャンペーンやイベントへの積極的な参画を依頼する。  １　各区子ども会が防災についての認識を高める活動  ２　各区子ども会において、警察等を迎えての防犯教室や交通安全教室  の実施  ３　各区子ども会においての見守り隊の協力  １　各種防犯に係る周知を行う。  ２　各区社会福祉協議会において、地域の防犯ボランティア団体等と  連携を図りながら、地域における防犯活動に参加する等の取組みを継続して実施する。  ３　「地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業」として、  地域の見守り活動や孤立世帯等への専門対応、また認知症高齢者等の行方不明者の早期発見へつなげた。  ４　コロナの影響を受け、孤立・孤独といった課題がより一層深刻となる中、地域のつながりづくりや、地域での見守りや気にかけ合う  　関係を途絶えさせないことで、一人ひとりが安心して暮らし続ける  ことができる安全安心な地域づくりをめざす。  ５　地域こども支援ネットワーク事業を実施し、こどもの居場所づく  りなどを支援することで、地域でこどもたちを支える取組みをすすめ、安全安心なまちづくりにつなげる。  １　各商店街で区役所等と連携し、啓発物の配布･掲示を実施する。  ２　各区のイベント等において、市民へ安全･安心を呼びかける防犯啓発  活動を実施する。  １　障害者週間キャンペーン  　　「共生社会の実現」「障害に関する理解の促進」等をテーマとして大  阪市各区の障がい者が主体的に参加し、区役所・駅・主要ターミナルで  啓発物品を配布し、啓発活動の展開を図る。  ・　実施日 障害者週間中（12月3日～9日）  　　・　活動内容　「障害がいのある人もない人も」  「共に暮らしていきやすいまちづくり」に向けて区  役所他主要箇所で広く市民に声掛けを行う。  　　　　　　　　　　街宣車で市内を巡回して広報活動を行う  　　　　　　　　　　啓発物品の配布  ２　大阪市身体障がい者福祉大会など関連する催しなどで、「安全なまちづくり」に関連した講演などを検討している。  　　また、参加の各区支部に対しても、地元のイベントなどに積極的に参加して「安全なまちづくり」に関するテーマで活動を行うよう要望する。  １　知識の普及  　　引き続き、安全のための知識を普及するために、青少年活動指導者対象の研修会や講座を開催し、また、依頼があれば講師として「指導者がおこなう安全管理のチェックポイント」や「ＫＹＴ（危険予知トレーニング）の活用」などの指導をおこないます。  　　また、自然体験活動の理解を深め、防災のノウハウや対応策を学ぶことで、体験的な防災教育を推進できる人材育成をおこないます。  　・　（一財）大阪教育文化振興財団「地域こども体験活動事業」講師登  　　録  　・　青少年活動リーダースクール  　　　野外活動指導者養成講習「野外活動における安全管理」  　・　大阪市青少年指導員研修会  　　　安全教育研修「野外活動の安全管理と指導者の責任」　など  １　指導ルーム活動の実施  　　毎月25日を「統一指導ルームの日」と設定して、夜間巡視を継続していきます。  ２　指導ルーム手帳の作成  　　巡視をする際の活動内容や心構えをまとめた携帯用の手引きを作成  １　街中での行動の注意喚起（歩きスマホの自粛、ひったくりへの注意）  ２　啓発冊子の配布と内容説明  ３　推進月間の広報  ４　新型コロナウイルス感染症予防策として、会話時のマスク着用を心  がける  １　女性学習会を通じた「地域における安全・安心なまちづくり」についての学習および啓発  ２　安全ガイドブック等の啓発冊子の配布、掲示  ３　地域安全運動キャンペーンへの参加  ４　推進月間のＰＲやひったくり等についての注意喚起  １　各区において、防犯ボランティア活動を展開し、区役所、警察署、  各防犯ボランティア団体と連携を図りながら、様々な防犯活動を展開していく。  １　子どもの安全見守り活動への協力（随時）  所管施設において「こども110番の家」のステッカーを掲示し、子どもの安全確保への協力  ２　防犯パトロール活動への協力（12月末）  所管施設所在の連合町会と協力して防犯提灯の設置および年末警戒パトロールへの参加。  ３　犯罪抑止活動（随時）  所管施設前の生活道路の清掃を兼ねて犯罪抑止の見守りを行う。  また、町会が防犯カメラを設置する際に所管施設の場所の一部を提  供したり、事業所と公道の境界に防犯カメラを設置して犯罪抑止につなげる。  １　役員・委員研修会で、ＰＴＡ活動と地域の安全対策についての事例発表を行う。  １　地域安全運動・歳末警戒の実施  　〇　春と秋の地域安全運動及び歳末警戒の実施  　〇　全国地域安全運動大阪府民大会の開催（警察との共催）  ２　広報啓発活動の実施  　〇　「大阪府安全なまちづくり推進会議」「大阪市安全なまちづくり推進協議会」、大阪府金融機関防犯対策協議会、質屋防犯対策協議会防犯設備協会等と協働した活動の推進  　〇　機関紙「防犯おおさか」での広報啓発（年３回発行）  　〇　「安全なまちづくり（地域安全活動資料）」、地域安全運動及び歳末警戒時のチラシ・グッズ等の作成配布  　〇　ホームページの運営（犯罪発生状況、安全なまちづくり関係など）  　〇　暴力団排除活動の推進（暴力団追放府民大会の後援等）  　〇　覚醒剤、危険ドラッグ等薬物乱用防止の広報  　〇　特殊詐欺及び悪質商法の被害防止広報（高齢者対策の推進）  　〇　自転車防犯登録制度の勧奨と鍵掛けツーロック運動等の推進  　〇　防犯関連図書、防犯手帳、その他各種防犯資料の斡旋  ３　防犯団体への支援活動  　〇　防犯団体が実施する防犯対策・活動等への助言・支援活動  　〇　防犯団体等へのＤＶＤ等貸し出し  ４　防犯ボランティア活動の活性化  　〇　防犯功労者に対する各種表彰  　〇　地域交流会の開催による相互啓発と自治体・警察との接点づくりの提供による活動の継続及び発展の意識づけ、活動支援環境の充実  　〇　「学生ボランティア育成支援活動」の推進による防犯ボランティアリーダーの育成  ５　防犯キャンペーンへの支援  　〇　ナンバープレート盗難防止ネジ等の斡旋  　〇　犯罪被害防止関連のDVDの作成  ６　防犯設備及び資機材の普及促進  　〇　防犯建物部品（CPマーク）等の優良防犯器具の普及促進  　〇　防犯モデルマンション、防犯モデル駐車場、防犯器具等登録制度  の普及促進  　〇　古物営業等の標識、台帳及び迷惑防止看板等の斡旋  ７　有害環境浄化に向けた取組  〇　風俗営業所管理者対象の定期及び処分時講習の実施（受託事業）  〇　風俗営業許可及び構造、設備変更申請に伴う営業所等の調査(受託事業)  １　市内２４地区保護司会が、自地区において特殊詐欺被害防止の周知  と理解を促す活動を展開し、地域の防犯意識の向上に努め、安全・安  心な地域づくりを強力に推進させていく。  ２　区民まつりなどのイベント会場や街頭において、イベントの参加者  　や街頭を通行する市民を対象に、啓発活動を実施する。  ３　広報、啓発の際に配布する活動物品を一括で調達し、各地区保護司  　会に分配する。  ※　ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止の措置として、区民ま  つりなどイベント等が中止となった場合は、当連絡協議会の活動を自  粛する場合がある。  １　地域の子どもたちを犯罪から守るため、地域内の各団体と協力して  登下校の見守りを実施  ２　夏休み期間に、夜回りを実施（数区にて実施）  ３　ひったくり、振り込め詐欺などの特殊詐欺の注意喚起  ※　新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、感染予防を徹底した  うえで、できる範囲で活動  １　高齢消費者被害防止講習会の開催  ２　交通安全大会・講習会等への参加  ３　ひったくり等についての注意喚起  ４　特殊詐欺についての注意喚起及び講習会の開催  「安全なまち大阪」の確立に向けた公的事業に対する積極的な参加・推進を令和４年度の事業計画に掲げ、次の活動を実施する。  １　「安全・安心まちづくりに関する協定」に基づく活動  　令和２年度に大阪府警察と締結した協定に基づき、次の活動を行  う。  (1)　災害及び重大事件発生時における防犯パトロールの実施  (2)　犯罪被害防止活動  (3)　会員の保有するドライブレコーダー情報の提供  (4)　登下校時の子ども見守り活動  ２　地域社会の安全と安心の確保に貢献するため、街頭犯罪をはじめと  する各種犯罪等の未然防止活動   1. 「街頭犯罪及び特殊詐欺の抑止」を主眼とし、府民の共感と信頼を得る協会独自の取り組みとしての防犯広報・啓発活動 2. 府下警察署が主催する街頭キャンペーン等への積極的参加   ３　各種事件事故防止活動時等における防犯意識の普及・啓発活動   1. 「全国地域安全運動府民大会」等への参加 2. 「大阪府安全なまちづくりキャンペーン」への参加 3. 「盗難防止の日キャンペーン」への参加 4. 会報等への「安全なまちづくり」に関する活動等の掲載 5. 「防犯・防災総合展 in KANSAI 2022」への参加による防犯意識の普及啓発活動の実施 6. 所轄警察署・防犯協会への活動支援   ４　子どもを守る活動の実施  「大警協安全安心まちづくりメール」による、子どもを守る活動の実施  １　府民に錠前に関する無料相談と会員業者の紹介  ２　大阪府並びに大阪府警察が行う、「放置自動車（大阪府条例）」の施解錠業務に於ける会員業者の派遣（年間業務）。  ３　本会メーカーの錠前商品の常設展示とリーフレット配布  ・　北区・曽根崎コミュニティプラザ  ・　住之江区・ＡＴＣ輸入住宅展示ホール  ４　催物（新型コロナウイルス感染拡大防止対策により開催中止あり）  　・　各警察署、自治体からの要請による防犯キャンペーン及び防犯教室  ５　「防犯防災総合展」への出展（インテックス大阪）  ６　その他、各種イベントへの参加  １　大阪府等が実施する安全・安心なまちづくりへの積極的参画  （１）　府・各市町村安全なまちづくり推進会議（協議会）及び幹事会へ  の積極的な働きかけ  　　　　大阪府安全なまちづくり推進会議等への参画を通じ、防犯対策  の重要性を訴え、専門的立場で積極的な助言等を行い、街頭防犯カメラの設置等具体的な形で各市町村が実施する安全・安心なまちづくりに貢献する。  （２）　警察等が推進する地域安全運動等への参加  　　　①　警察等が行う地域安全活動へ積極的に参加するとともに、府  民の要請に応じ、防犯診断、防犯教室等を実施する。  　　　②　昨年度に引き続き要請に基づき小学校等の防犯診断を実施する。  （３）　一般住宅への侵入犯罪抑止活動の強化  　　　　大阪府警察本部、住宅侵入犯罪等抑止対策協議会及び住宅生産  振興財団との連携のもと、大阪府防犯優良住宅認定制度（戸建部門、低層マンション部門）や大阪府防犯優良戸建住宅外構認定制度の普及、促進を図るとともに（一社）大阪府防犯協会連合会が実施している大阪府防犯モデルマンション登録制度の支援を強化し、住宅侵入犯罪の抑止活動に貢献する。  （４）　万引防止対策の普及・促進  　　　　「大阪府万引き総合対策協議会」のメンバーとして、大阪府警察  を始め、万引防止会議のメンバーと連携し、防犯機器・システムを中心とした万引防止対策の普及・促進を図る。  （５）　自動車盗難等の防止活動の推進  　　　　「大阪府自動車盗難等防止対策協議会のメンバーとして、大阪府  警察を始め、同協議会のメンバーと連携し、駐車場への防犯カメラの設置の促進やナンバープレート盗難防止ネジの普及および防犯機器等を中心とした自動車関連犯罪の抑止活動強化を図る。  （６）　出入管理システムの調査研究及び優良錠前普及促進  　　　　出入管理システムの進化が著しい中、一般住宅では、従来の錠前による戸締りが大半を占めているため、防犯優良錠前の普及が極めて重要な要素となっており、従来以上に錠前事業者と連携を図るとともに、錠前メーカーを招致して研修会を開催する。  ２　優良防犯設備機器・システム設置の促進及び広報啓発の推進  （１）　優良防犯設備・機器等の設置及び維持管理  　　　　大阪府を始め、市町村等が推進する防犯対策の一環としての街頭防犯カメラの設置など、府民、自治体、事業者等の依頼に基づく優良防犯設備等の設置などを中心とした地域のインフラの整備に積極的に取り組む。  （２）　優良防犯設備機器・システムの広報啓発の推進  　　　　優良防犯設備機器等のセミナー等を開催し、優良防犯機器認定制度（ＲＢＳＳ制度）など、最新の防犯設備機器・システムの普及促進及び知識の啓発に努める。  （３）　常設展示場の設置と各種イベントへの積極的参加  　　　　曾根崎警察署地下の大阪府警広報コーナーに設置の防犯設備機器等の常設展示場を維持更新するとともに、各種イベントへ積極的に参画し、優良防犯設備機器の展示、防犯相談コーナーの開設や防犯講話の実施を通じて、当協会の活動及び優良防犯設備機器・システムの広報啓発に努める。  ３　 協会体制の充実強化と事業内容等の啓蒙活動の活性化  （１）　協会体制の充実強化  　　　・　財政規模・体制の拡大・強化  　　　・　委員会活動の活発化と事務処理体制の充実強化  　　　・　将来展望の模索  　　　・　防犯設備アドバイザーの積極的な活用  （２）　事業内容等の啓蒙活動の活発化  　　　　広報委員会の積極的な活動を通じて、ホームページの有効活用をはじめ、協会広報啓発用パネルの作成、展示など、広く府民に協会の事業内容及び活動状況を広報啓発する。また、報道機関への積極的なアプローチ、関係団体の機関誌等への掲載等を積極的に展開する。  ４　 防犯対策支援のための高度な知識を持つ人材の育成と技術の向上  （１）　防犯設備士養成講習等の支援  　　　　リモート方式で行われることとなった（公社）日本防犯設備協会が行う防犯設備士養成講習、総合防犯設備士受験セミナーを広く関係機関、団体、企業等に紹介し、防犯設備士、総合防犯設備士の受験勧誘を積極的に行う。  （２）　防犯設備アドバイザーの拡充と技術・能力の向上  　　　　防犯設備アドバイザーに対する講習会を今年度は2日間行うこととしたほか、防犯設備士更新講習の対象となっている防犯設備アドバイザーには更新講習の受講を促し、技術、能力の向上を図る。  １　指導者研修時には、活動時の安全については必ず指導する。  ２　ガールスカウト日本連盟発行「子どもの保護と安全に関する成人会  員ガイドライン」を成人会員に周知する。  ３　ＳＮＳなどの個人情報の扱い方の注意点の確認を各団に周知する。  ４　活動における新型コロナウイルス感染防止対策の周知。  １　今年度も、大阪府に対して「政策・制度予算要請」を実施予定。  大阪市を含む府内の市町村に対しても、同様の要請を実施予定。  ２　「社会インフラ」の項目については、昨年度の12点を中心に、現状  　に合わせて編集予定。  ３　要請内容を構成組織に広く展開し、安全なまちづくりへの啓発に寄  与する。  ※　要請内容  〇　社会インフラ（住宅・交通・情報・防災）施策　【12項目】  (1)　交通バリアフリーの整備促進  (2)　安全対策の向上に向けて  (3)　運輸事業の交通安全対策・環境対策等について  (4)　キッズゾーンの設置に向けて  (5)　防災・減災対策の充実・徹底について  (6)　地震発生時における初期初動体制について  (7)　大阪府北部地震に対する継続支援について  (8)　集中豪雨等風水害の被害防止対策について  (9)　激甚災害時における公共交通機関の早期復旧に向けた取組  (10) 公共交通機関での暴力行為の防止とその対策について  (11) 交通弱者の支援強化に向けて  (12) 持続可能な水道事業の実現に向けて  １　広報啓発物の掲示等の推進  ２　大阪市包括連携協定の推進  （１）地域見守り活動  ・　道路や公共設備の損傷を発見した際の通報  ・　配達先で家屋・住人の異常を発見した場合の通報  ・　不法投棄などを発見した際の通報  （２）区政・市政状況のＰＲ  ・　広報紙等の社内回覧及びお客さま窓口配架  （３）こども１１０番の家事業への協力  ・　郵便局窓口へのステッカーの掲出、取組の啓発  （４）ポスター・チラシのお客さま窓口への配架  ・　項番１の広報啓発物のほか、個別に要請があった場合に大阪市内の各郵便局において掲出・配架を行う  ３　特殊詐欺被害防止への取組  各郵便局のお客さまルーム及びＡＴＭコーナー等で啓発チラシの配  架及びステッカーの掲出  また、不審な取引を迫られているお客さまへの声かけや相談対応を行う  ４　大阪府高齢者にやさしい地域づくり推進協定に基づく地域づくり  　・ 高齢者等の見守り活動  ・ 認知症に対する正しい知識の習得  ・ 高齢者等の消費者被害防止への取組  ５　新型コロナウィルス感染拡大防止動画の窓口での放送  （大阪市北区役所からのお知らせあり）  ６　新型コロナウィルス感染予防の市民周知用ビラの窓口配布  １　地域安全センターの活動支援  　〇　地域の情勢に応じた地域安全センター設置箇所の見直し  〇　治安対策ニュース・治安対策課通信や府ホームページ等の各種広報媒体で好事例・効果的な取組を広報することによる地域安全センター・ボランティア団体の活性化  〇　新型コロナウイルス感染症対策に配意した、防犯教室や見守り活動等の地域安全センターの取組参加による防犯ボランティア団体の活性化  ２　企業における社会貢献活動への取組の促進  〇　公民連携デスクと連携して、企業における防犯活動の取組の働き掛け  〇　企業に対して、各種防犯キャンペーンで配布する啓発物品の提供依頼や従業員に対する防犯意識向上のための研修を実施  ３　防犯リーダー等の養成及び防犯ボランティア活動への参加啓発  〇　大阪ランニングパトロールをはじめとした「ながら見守り活動」の普及促進  〇　「安全・安心なまちづくりマニュアル」を活用した研修会等による防犯リーダーの育成  〇　消費生活センター等と連携した特殊詐欺等の被害防止に協力する防犯リーダーの養成  〇　ツイッターを活用した、若い世代に対する広報啓発活動の推進  ４　青色防犯パトロール活動の促進  　〇　事業者団体への青色防犯パトロール車両寄贈の働き掛け及び寄贈された車両の市町村への配車  〇　府保有の青色防犯パトロール車両を活用した、児童の登下校時における見守り活動支援  ５　ホームページの活用による防犯ボランティア活動の紹介、防犯ボランティア支援などの積極的な情報の提供  　〇　防犯ボランティアの取組事例の紹介  〇　大阪府安全なまちづくりボランティア団体表彰受賞団体の紹介  ６　庁内ウェブページ等を活用した府職員の防犯意識の向上や防犯活動への参加促進  　〇　庁内ウェブページや庁内放送等を利用した、府職員への防犯情報の提供による防犯意識向上の促進  〇　府民へ危害が及ぶおそれのある事案が発生した際の、積極的な情報発信・注意喚起の実施  ７　基礎自治体との連絡調整  　〇　市町村防犯担当者連絡調整会議の開催  〇　自治体への犯罪情報や効果的な防犯対策情報の提供  〇　防犯環境整備状況の把握・資料化と情報共有の実施  ８　犯罪多発場所等における防犯対策の推進  　　犯罪情勢に合わせた、自治体、事業者、防犯ボランティア等への働き掛けや防犯研修、キャンペーン等広報啓発活動の実施  ９　実践的・体験型交通安全事業の実施  　　自転車シミュレータを活用した効果的な交通安全講習の実施  10　犯罪抑止に向けた街頭キャンペーン等の実施  安全なまちづくり推進月間や地域安全運動等を通じた防犯意識の向上  11　地域安全マップの普及促進  　〇　地域安全マップ作成マニュアルなどの情報提供による、「地域安全マップ」の普及促進  〇　地域安全センターを活用した地域安全マップの作成支援  12　府民に対する「治安対策に向けたアンケート調査」の実施  　　「おおさかＱネット」を活用した府民への治安対策に関する調査の実  　施  13　地域に根ざした少年非行対策を進めるための市区町村における少年非行防止活動ネットワークへの支援  14　少年の非行及び犯罪被害防止活動の実施  　　夜間等における街頭巡回への同行による、声掛け活動の実施（少年非行防止活動ネットワークへの活動支援）  15　小・中学校における生徒指導体制の強化  　　大阪府少年サポートセンター学警補導連絡会等を開催し、小・中学校との連携強化  16　少年警察ボランティア及び青少年指導員との連携  17　青少年健全育成条例等の効果的な運用  　〇　有害環境浄化活動の促進  ・　キタ、ミナミ等繁華街の夜間立入制限施設への条例の遵守状況調査  ・　有害図書類等の区分陳列等の遵守状況調査及び図書類自動販売機の遵守状況調査  〇　スマートフォン等を介した被害の防止に向けた取組の促進  　　・　青少年のフィルタリングの利用促進に向けた教育・啓発活動  　　・　青少年のネットリテラシー向上に向けた教育・啓発活動  　　・　携帯電話販売店舗への条例遵守状況調査の実施  18　少年非行防止・暴走族追放のための広報啓発  　〇　様々な広報媒体を用いた効果的な広報の推進  　　・　少年非行・被害防止強調月間  ・　少年非行防止対策関係会議への参画  19　非行等問題行動のある少年に対する立ち直り支援  　　少年の関心や状況に応じたプログラムや体験活動等の立ち直り支援の実施  20　少年非行防止に向けた保護者・家庭への支援  　　少年サポートセンター育成支援室立ち直り支援を通じた保護者・家庭への支援  21　無職少年に対する自立・就労支援  〇　大阪府子ども・若者民間支援団体連絡会議の活用  〇　「青少年スキルアップサポートモデル事業」の実施  　　　ひきこもり等青少年の相談支援、居場所支援を実施するNPO等民間支援団体の活動促進を図るため、連絡会議の開催と補助金交付事業を実施  〇　若年無業者の職業的自立支援の実施  OSAKAしごとフィールドにおいて大阪府地域若者サポートステーションと一体的に支援を実施することによる若年無業者の職業的自立支援の実施  22　まちぐるみでの子ども見守り活動の促進  　〇　地域住民、事業者等に対する子ども見守り活動への参画の働き掛  　　け  〇　事業者団体と連携した防犯ブザーの普及  23　こども110番運動の活性化  　　「こども110番の家」及び「動くこども110番」の広報啓発活動の推進  24　非行防止・犯罪被害防止教室の実施  　　小学校高学年に対する「非行防止・犯罪被害防止教室」の実施  25　道路・公園における防犯環境の整備  　　府営駐車場内の監視カメラ等による監視体制の維持、防犯ポスターの掲示  26　自転車通行環境・空間の整備  27　無電柱化事業の促進及び美観形成等による交通・防犯環境の整備  28　住まいの防犯対策の普及  「大阪府防犯優良住宅認定制度（戸建・低層マンション）」の推奨、同制度及び「防犯モデルマンション」等の広報啓発活動  29　府営住宅における防犯環境の整備  30　ひったくりの発生実態に応じた防止カバーの普及促進  31　子どもや女性を対象とした性犯罪等の未然防止対策の推進  　〇　性犯罪被害防止に向けた効果的な広報啓発活動の推進  〇　事業者団体と連携した防犯ブザーの普及  〇　こども110番運動の広報啓発による「こども110番の家」、「動くこども110番」の普及促進  〇　女性に対する性犯罪被害防止研修・キャンペーン等の実施  〇　府保有の青色防犯パトロール車両を活用した児童らの登下校時における見守り活動支援  〇　再犯防止措置対象者に対する再犯防止対策の推進  〇　性犯罪被害防止に向けた効果的な広報啓発活動  32　サイバー犯罪の手口に関する関係機関との情報共有  　〇　詐欺サイト及び偽サイトに関する情報の共有  〇　サポート詐欺やビジネスメール詐欺等、新たなサイバー犯罪の手口に関する情報の共有  33　特殊詐欺被害防止対策の推進  　〇　府内各部局、警察、自治体、事業者等と連携した被害防止に関する広報啓発の実施  〇　消費生活センターと連携した被害防止対策の推進  〇　特殊詐欺被害防止緊急対策事業による市町村への特殊詐欺対策機器の普及促進  〇　被害防止に関する広報啓発活動の推進  〇　キャンペーン等の広報啓発活動を通じた防犯機能付電話機等の普  　及  　〇　自治体へ特殊詐欺対策機器の普及促進  34　生活保護の適正実施に向けた取組の推進  　〇　生活保護の申請権の保障等に向けた働き掛け  生活保護の申請権の保障等に関する広報及び生活保護の実施機関に対する必要な指導  　〇　生活保護の支給の適正化に向けた働き掛け  　　　生活保護の実施機関に対する必要な指導  35　高齢者の見守り活動など支援の充実  　〇　公民一体の高齢者の見守り活動の推進  　　　「大阪府高齢者にやさしい地域づくり推進協定」の締結及び同協定に基づく取組の推進  〇　大阪府警察本部等と連携した高齢者見守り強化のための啓発  　　事業者向けの見守り者啓発のポスター等の配布による従業員への周  　知  36　企業等と連携した自動車関連犯罪の被害防止対策の推進  　　関係団体・企業と連携した広報啓発活動の実施  37　駐車場・駐輪場設置等の防犯設備の整備に係る啓発、協力要請  　　関係団体・企業と連携した広報啓発活動の実施  38　自転車の鍵掛け及び防犯効果の高い鍵の取付の啓発・指導  　　「大阪府自転車盗難等防止対策協議会」の関係団体・企業と連携した自転車盗難防止広報の実施  39　重層的なネットワークを活用した自転車盗難防止対策の推進  　　「大阪府自転車盗難等防止対策協議会」のネットワークを活用した自転車盗難防止対策の実施  40　地域における規範意識高揚キャンペーン（自転車の放置、無灯火、二人乗り等の追放）の推進  　〇　「大阪府自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」に基づいた活動の推進  〇 大阪府交通対策協議会の定める府民運動大綱に基づく各季の運動  の推進  ・　各種広報媒体を活用した広報啓発活動  ・　条例内容の周知啓発  41　薬物乱用防止啓発活動等の実施  　〇　薬物乱用防止の広報啓発  　　・　大阪府青少年指導員連絡会議等の活用  　　・　各種啓発キャンペーンの実施  〇　薬物乱用防止の広報啓発  ・　薬物乱用防止の指導・教育を充実強化  ・　各種啓発キャンペーンの実施  ・　府政だより等による広報  〇　学校における薬物乱用防止教育  42　自転車のマナーアップ向上に向けた駐輪場の整備・設置の促進、及び放置自転車追放の気運を高めるための広報啓発活動の推進  　　自転車マナーアップ強化月間及び駅前放置自転車クリーンキャンペーンの実施  43　違法駐車排除活動の活性化  44　不法投棄監視の充実  　〇　不法投棄の抑制効果の向上  　　　不法投棄の抑制を目的とする監視カメラの適切な管理  〇　不法投棄の早期発見及び早期撤去  　　　定期的な道路パトロールによる不法投棄の早期発見と撤去  45　落書き・投棄ゴミの早期排除・ボランティアと協働した取組の推進  〇　地域住民との協働  　〇　落書き消し活動の推進  １　地域安全センターの活動支援  　○　防犯ボランティア活動が実施しやすい場所となるよう、治安対策課と連携した地域安全センターの設置箇所の見直し  ○　防犯ボランティア活動を活性化させるための地域安全センターを活用した防犯教室、合同パトロール等の実施  ○　地域安全センターの更なる活性化に向けた自治体、事業者等に対する防犯ボランティア活動への協力依頼  ２　企業における社会貢献活動への取組の促進  　○　協定を締結した事業者への犯罪情勢及び地域安全情報等の提供と広報啓発等の協力依頼  ○　事業者に対し、ランパトや見守り活動等の防犯CSR活動への参加を促し、協働した活動を推進  ○　防犯意識向上のための啓発物品、ポスター等の共同製作の働き掛けの促進  ○　報道事業者に対する防犯情報発信の働き掛けや、商業施設に対する防犯広報への協力依頼  ３　防犯リーダー等の養成及び防犯ボランティア活動への参加啓発の推  　進  　○　大阪ランニングパトロールをはじめとした「ながら見守り活動」の普及促進  ○　安まちアプリ等を活用した、若い世代に対する広報啓発の推進  ○　各種犯罪発生状況の提供や、ボランティア活動の方向性の指導等、若手防犯ボランティアの主体性を醸成するための支援の実施  ４　青色防犯パトロール活動の促進  犯罪発生実態の情報提供や合同パトロールの実施等による効果的な青色防犯パトロール活動の支援  ５　ホームページの活用による防犯ボランティア活動の紹介、防犯ボランティア支援など積極的な情報の提供  　○　各種広報媒体を活用した自主防犯行動を促す情報の提供  ○　安まちアプリの登録勧奨  ６　犯罪多発場所等における防犯対策の推進  　　自治体や事業者に対する犯罪多発場所や通学路等への防犯カメラ設置に向けた働き掛けの推進  ７　犯罪抑止に向けた街頭キャンペーン等の実施  　○　活発な防犯活動を継続させるための防犯功労者、防犯功労団体に対する各種表彰の実施  ○　地域安全運動期間や毎月11日の「安全・安心まちづくりの日」における、街頭キャンペーン等の広報啓発活動の実施  ８　地域安全マップの普及促進  地域安全マップ（子どもが犯罪被害に遭いやすい危険箇所）等の作成にかかる参考情報の提供  ９　地域に根ざした少年非行対策を進めるための市区町村における少年非行防止活動ネットワークへの支援  　　活動実態に即した支援の実施  10　少年非行及び犯罪被害の未然防止活動の実施  　〇　関係機関・団体等との合同補導の実施  〇　地域の実態に即した街頭補導活動の強化  〇　歓楽街における夜間帯の街頭補導活動及び少年を福祉犯被害から守る活動の推進  〇　サイバーパトロール等による犯罪被害の未然防止活動の推進  11　小・中学校における生徒指導体制の強化  　　学校との連携強化  12　少年警察ボランティアとの連携  少年警察ボランティアと連携した少年非行防止対策の推進  13　青少年健全育成条例等の効果的な運用  　〇　有害環境浄化活動の促進  〇　インターネット利用に関する教育及び広報啓発活動の推進  14　少年非行統計に基づく街頭補導活動等各種少年非行防止活動の推進  　　少年非行統計の分析及び効果的な活用  15　少年非行防止・暴走族追放のための広報啓発活動  　　効果的な広報啓発活動の推進  16　非行等問題行動のある少年に対する立ち直り支援  　○　少年に手を差し伸べる活動の推進  ○　科学的アプローチを用いた立ち直り支援活動の推進  17　まちぐるみでの子ども見守り活動の促進  　○　犯罪の発生時間・場所等を踏まえた見守り活動の推進  ○　子ども安全見守り隊が効果的な見守り活動を行えるよう、子どもに対する声掛け事案の発生状況等の情報提供  ○　日常生活や事業活動をしながら子ども見守り活動を行う「ながら見守り活動」の促進  18　非行防止・犯罪被害防止教室の実施  　　小学校高学年に対する「非行防止・犯罪被害防止教室」の実施  19　繁華街等における防犯設備の整備  　　街頭防犯カメラシステムの維持・管理、必要性に応じた更新及び撤去に向けた整備の推進  20　自転車通行環境の整備  　　道路管理者と連携した自転車通行空間の整備の推進  21　地域における防犯カメラ等効果的な防犯設備の普及促進及び整備  　○　自治体に対する防犯カメラ等の防犯環境整備の促進に向けた資料提供や働き掛け  ○　新駅や都市開発の整備事業を実施する自治体等に対し、予算段階からの防犯カメラ設置の働き掛け  22　官公庁、交番等への防犯カメラ等の設置による地域の安全確保  　　交番等における防犯カメラの管理  23　住まいの防犯対策の普及  ○　「大阪府防犯優良住宅認定制度（戸建部門）」、「大阪府防犯優良住宅認定制度（低層マンション部門）」及び「大阪府防犯優良戸建外構認定制度」の普及促進  ○　「防犯モデルマンション」、「防犯モデル駐車場」の普及促進  24　ひったくり防止カバーの普及促進  　　関係機関と連携した、ひったくり防止カバーの作製及びキャンペーン等による普及促進  25　子供や女性を対象とした性犯罪等の未然防止対策の推進  　○　子供や女性に対する声掛け等、性犯罪等の前兆とみられる事案に対する迅速な対応  〇　再犯防止措置対象者に対する再犯防止対策の推進  ○　女性に対する性犯罪被害防止研修・キャンペーン等の実施  ○　子供や女性を守る気運の醸成  26　サイバー犯罪被害防止対策の推進  　○　広報啓発活動の実施  ・　あらゆる広報媒体・方法を活用した啓発活動の推進  ・　サイバー防犯ボランティアの更なる拡充と活動支援  ○　インターネットバンキングに係る諸対策の推進  ・　金融機関の顧客に対する被害防止対策の推進  ・　悪用される口座の供給源の遮断  ○　公衆無線LANのセキュリティ諸対策の推進  27　特殊詐欺被害防止対策の推進  　○　自治体、事業者等と連携した被害防止に関する広報啓発の実施  ○　消費生活センターと連携した被害防止対策の推進  ○　ツイッター上の募集、応募に対する警告、注意喚起等特殊詐欺等の犯罪に加担しない取組の強化  28　水際対策の強化推進  　○　官民一体となった「ストップ！ＡＴＭでの携帯電話」運動の推進  〇　コンビニエンスストア等の企業と連携した声掛け訓練等の実施  ○　金融機関職員等への声かけ等の協力要請による未然防止対策の推  　進  ○　金融機関に対するＡＴＭ引出・振込制限、モニタリングなどの協力依頼の推進  29　だまされないための電話対策の推進  　○　高齢者等に対する防犯機能付電話機等の設置及び留守番電話機能の活用の呼びかけの推進  ○　ホームページ等における特殊詐欺対策機器の紹介  ○　人工知能（ＡＩ）を利用した特殊詐欺抑止対策の働き掛け  30　企業等と連携した自動車関連犯罪の被害防止対策の推進  　　関係団体、企業と連携したナンバープレート盗難防止ネジの無料取付キャンペーン等による防犯グッズの普及促進  31　駐車場・駐輪場設置者等への防犯設備の整備に係る啓発、協力要請  　○　関係団体に対する防犯対策に関する広報啓発、犯罪発生実態に即した防犯環境整備の働き掛け  ○　「大阪府自動車盗難等防止対策協議会」の開催  32　自転車の鍵掛け及び防犯効果の高い鍵の取付の啓発・指導  　　自転車錠、バッテリー錠等、防犯性能の高い錠前の取付及び普及促進  33　重層的なネットワークを活用した自転車盗防止対策の推進  　「大阪府自転車盗難等防止対策協議会」のネットワークを活用した自転車盗難及びバッテリー盗難の被害防止対策の推進  34　地域における規範意識高揚キャンペーンの推進（自転車の放置、無灯火、二人乗り等の追放）  　○　「大阪府自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」に基づいた活動の推進  　　・　各種広報媒体を活用した広報啓発活動  　　・　自転車マナーアップ強化月間（11月実施予定）等の活用  ・　条例内容の周知啓発の推進  35　違法駐車排除活動の活性化  　○　府民意識の向上に向けた広報啓発活動の推進  ○　駐車実態に即した駐車監視員の効果的な運用  資料４参照 |